

津軽みらいの
若い千カラ
～ 職員紹介～

名前：小原 健太郎 (おばら けんたろう)
配属先：浅瀬石支店
出身地：黒石市 年齢：28歳
好きな農産物：りんご
座右の銘：一生懸命



■ J A で働いた感想は？

事業内容がとても多い事に驚きました。これからたくさん知識を付けなければいけないと思います。

■ 仕事をする上で心掛ける事はありますか。

人に喜ばれるような事をしたいと思っています。毎日明るく仕事をしていきたいです。

■ 休日の過ごし方又は趣味・特技を教えてください。

休日は友達と遊んだり、趣味のゲームなどをして過ごしています。

■ 理想の職員像はありますか。

組合員や J A の方々のお力になれるようになりたいです。

読者の声

米に虫が入っていてとても嫌な気持ちになります。早急に解消してほしいと日頃より思っております。
(平川市 S・A 22歳)
④配達されたら早めに食べ切ることと涼しいところに保管することで、虫の発生を抑制することができます。

「ときわにんにく」を東京の親戚に送ったら、間もなくまた送ってほしいという電話があった。日本産で良質の手頃な値段が好評なようである。これからも良質な「ときわにんにく」を宣伝していきたい。
(藤崎町 I・H 82歳)

④ J A 管内の農産物をどんどん送って宣伝してください。自慢の農産物ばかりですよ♪

「津軽みらいのわらしっ子」のコーナーを見るのが楽しみです。みんな可愛くて癒されます。
(平川市 M・T 60歳)

④ こどもたちの笑顔には癒されますね！みんな元気に育ってほしいです。

健康づくりを考える講座をたくさん開いて、皆が健康に気を付けて長生きをしてもらいたいです。

(平川市 A・H 84歳)

④ 冬期間は講座が多くなる時期ですので、注目してください。カルチャー講座が今年も開催されますので、健康のために楽しみを見つけてみませんか？

農協まつりの開催も知っている人が写っており、とても楽しく拝見しました。(黒石市 J・S 68歳)

④ 農協まつりに参加できなかった方でも雰囲気味わっていただけるよう編集しました。来年はより多くの方に楽しんでもらいたいです。

9月号で募集した「秋の味覚」をご紹介します

いつでも何を食べてもおいしく思っています。
(田舎館村 S・Y 75歳)

秋と言えばキノコ。さもだしの塩辛昆布やみそ汁が大好き。
(黒石市 S・K 56歳)

秋の味覚は食用菊です。大きく育ったものから収穫して、美味しく食べます。冷凍しては来年の秋まで大事にして食べます。
(板柳町 N・S 63歳)

食欲の秋。炊き込みご飯はとてもおいしいと思います。秋の空気を感じ、おいしいものを頂くとき、とても幸せを感じます。
(平川市 K・T 66歳)

秋には親戚からさつまいもが送られてきます。焼きいも、天ぷら、大学ポテトどれもおいしいです。
(黒石市 M・M 59歳)

秋の味覚と言えば我が家では栗。2週間位毎朝栗拾いをして、茹で栗や栗ご飯、栗羊羹もときを作りました。
(平川市 N・K 64歳)

柿が好きです。生もいけど干し柿はもっと好きで、売り場で見かけるとつい買ってしまいます。
(板柳町 N・T 78歳)

りんご、柿、ぶどうその他…生産者の方々おいしい果物をありがとう。大いに食べますよ。
(田舎館村 S・M 71歳)

海と言えばさんまや鮭、陸と言えばりんごや栗などが秋の味として楽しめます。最近の天候の激しさに負けず努力している生産者の方々に感謝して味覚を味わいたいです。
(黒石市 T・M 59歳)

秋はたくさんのお食べ物と食べ方がありますね。生産者の努力と自然の恵みに感謝して、秋の味覚を楽しみましょう♪
今月のテーマは「運動」です。趣味としているスポーツ、おすすめの運動など教えてください♪